

平戸市議会だより

とかいせん



▲イチゴ栽培全盛（田平地区）

田平地区では8戸の農家が早朝から収穫にがんばっています。
収穫は5月下旬頃まで続きます。

「ふるさと納税」大躍進!! 第42号

平成27年2月1日発行
12月定例会報告

contents

12月定例会で審議された案件と結果	2
12月定例会 ここに注目!	3
委員会活動報告!	
総務常任委員会	4
産業建設常任委員会	5
文教厚生常任委員会	6
決算特別委員会	7

市政を問う! 9名の議員が一般質問に登壇	
神田 全記議員、山内 政夫議員	8
山崎 一洋議員、竹山 俊郎議員	9
川上 茂次議員、近藤 芳人議員	10
松山 定夫議員、辻 賢治議員	11
山田 能新議員	12
意見書	12
議会活動報告	13
トピックス!	14
平戸のチカラ	
ひびき	

平戸のチカラ

光のフェスタ実行委員会編

このコーナーでは平戸を元気にするために各分野で活躍されている皆さんをご紹介します。

光で地域をあたたかく!!

県立田平公園において、
「光のフェスタ2014」
を取材させていただきました。

平戸の冬のイベントの顔になりました「光のフェスタ」も、今年で8回目を迎えたそうです。県立田平公園の入り口から公園奥の滑り台、展望台まで、さまざまな光のオブジェが私たちを楽しませてくれます。

毎年6月頃から構想・準備に取り掛かり、12月の点灯式まで「半年があつという間に過ぎる」と実行委員の重富さん



んは笑いながら説明してくださいました。
今回の点灯式には、延べ1千700人が来場されたという事で、市内はもとより市外からも多くの方がいらつしやつたということでした。
実行委員会は8つの団体から構成されていますが、これまでも資金の問題、震災後の節電の高まりなど、継続していくるか紆余曲折あつたそうです。

しかし、地域をあたたかく照らしたい、何より点灯式でのお客さんの笑顔がたまらなくうれしいからと、多くの方の協力を得ながらがんばり続けているという事でした。今後は、「し

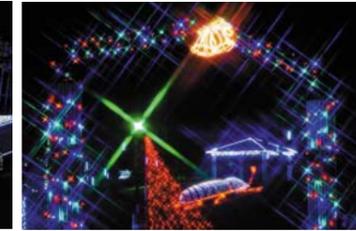


▲イベントの1つ しめ縄づくりの様子

EDの進化によりイルミネーションも高性能化しているので、新たなタイプを少しずつ増やしていきたい。さらに、平戸中南部地区でもイルミネーションが広がっているのので、光のロードとしていつか連携できれば」と述べられました。みんなの笑顔をエネルギーにして、これからも光輝くイベントを続けていただきたいと思ひます。



▲▶ 前回フォトコンテスト入選作品から



ひびき

近年、自然災害が多発して、国内外で甚大な被害を及ぼしている。
地震や火山の噴火を別にすれば、いずれもCO2増加に伴う地球温暖化の影響による気候変動が大きな原因といわれている。これ以上CO2排出を増やさないための国際会議が開かれていくが、経済活動との絡みから削減については難航しているのが現状である。
かかる中、昨年9月に平戸市が「CO2排出ゼロ都市宣言」を表明したことは誠に時宜を得たものと思う。全国の市町村の中でも「CO2排出削減宣言」はしても「ゼロ」宣言をしているところはほとんど見当たらない。それだけ実現が難しいといえる。
今回の宣言は勇気ある行動と評価できるが、実現するためには市民の理解と協力が不可欠である。また、実現に至るまでの具体的内容について広く市民に周知を図るべきである。
これ以上災害を増やさないためにも、小さなことではあるが市民一人一人が自覚して、エネルギーの削減に努めることが大切だと思ふ。
(住江高夫委員)